

アンサーバックユニット(ABU2C)の取り付け方法

はじめに

アンサーバックユニットをお買い上げ頂きましてありがとうございます。車両への取り付けはこの説明書をよくお読みになった後で実施してください。尚、本製品を取り付け中もしくはご使用中にいかなる被害・損害が発生致しましても私は責任を負いかねますのでご了承ください。また、本製品の取り付け等に関するお問い合わせは、メールか掲示板をご利用ください。(電話でのお問い合わせはご遠慮ください) <ホームページ <http://www.yagisawa.net/>>

結線には市販の分岐タップ(赤)を使用してください。(青は接触不良が発生しやすいようです) ギボシ端子での接続でも構いません。

取り付け方法

1.リレーの取り付け

一般的にハザードスイッチのコネクタ配線に取り付けます。配線図に記入してある印がリレーを取り付ける位置です。

リレーから出ている赤1本と白2本を分岐タップ等にて取り付けてください。

取り付け後、黄色線の先端の被覆をはがして、アース(シガーソケットの外周部等)に接触させてみてください。ハザードランプが点灯すれば正常です。ハザードが点滅する場合は接続先が間違っています。(このテスト時以外はアースに接続しないでください)

2.ユニット本体の取り付け

配線図に記入してある印が本体を取り付ける位置です。分岐タップ等にて取り付けしてください。

3.黄色線の接続

黄色線どうしを接続します。(注意:ユニット本体の黄色線は絶対にアースに接続しないでください)

アンサーバックの動作について

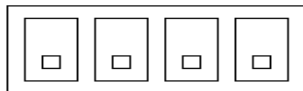
このユニットはキーレスのみではなく、集中ドアロックスイッチや鍵による操作でもアンサーバックします。但し、橙線の取り付け先を選択することにより、エンジン稼動中やサイドブレーキ解除中、シフトレバー「P」以外時等はアンサーバックしないようになります。(また、ユニットが動作を開始してから5秒間はアンサーバックしないようにプログラムされています)

ハザード点滅パターン設定方法

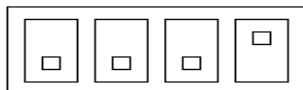
アンサーバックユニット本体のふたを開け、回路基板上のディップスイッチをご希望の点滅パターン設定に変更してください。

静電気にご注意ください

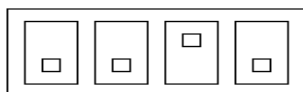
回路基板上のディップスイッチに触れる前に、必ず車体アース等の金属部分に触れるなどして体に溜まった静電気を逃がしてください。静電気によるマイコンの故障が起きた場合、電源投入後にハザードが常に点灯状態になります。この場合は、赤線か橙線か黄色線を外して動作を停止させてください。



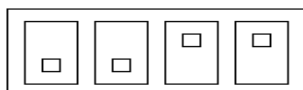
ロック時3回、アンロック時1回、低速点滅(出荷時設定です)



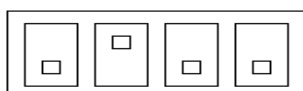
ロック時6回、アンロック時2回、高速点滅



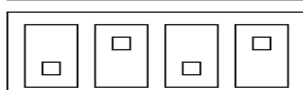
ロック時2回、アンロック時1回、低速点滅



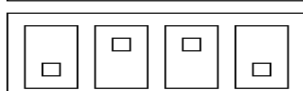
ロック時4回、アンロック時2回、高速点滅



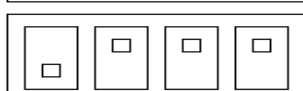
ロック時1回、アンロック時3回、低速点滅



ロック時2回、アンロック時6回、高速点滅



ロック時1回、アンロック時2回、低速点滅



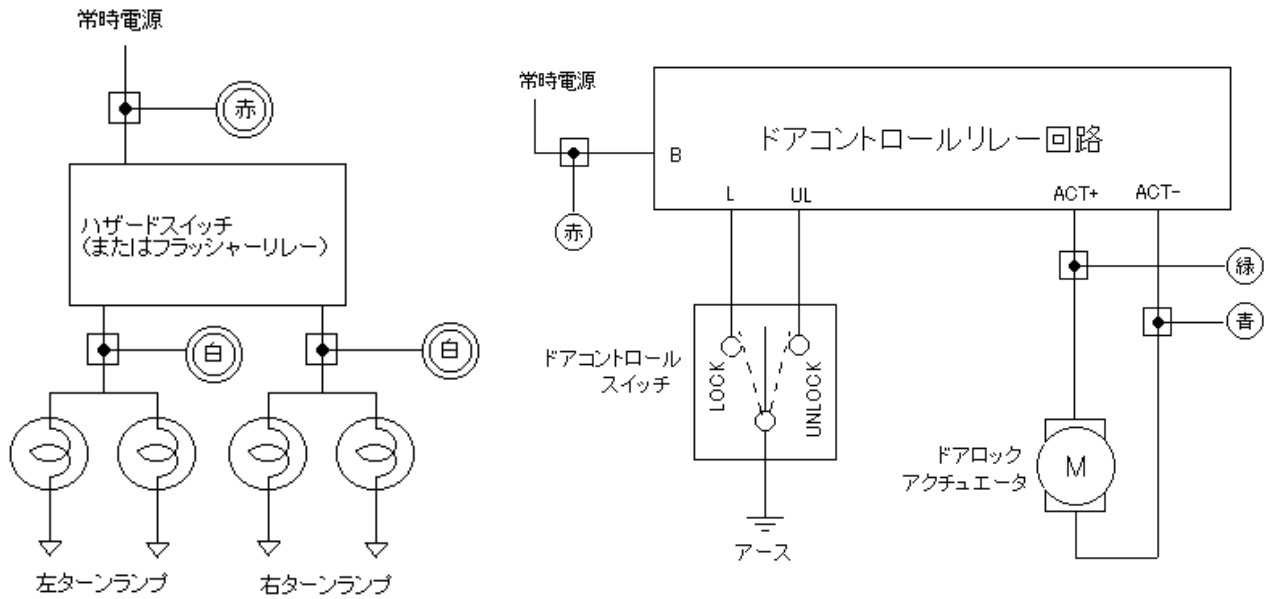
ロック時2回、アンロック時4回、高速点滅

低速は1秒周期の点滅、高速は0.5秒周期の点滅です。

一番左側のスイッチ位置は動作に関係ありません。

緑線と青線の接続位置により、左から2番目のスイッチ設定が逆になることもあります。電氣的に問題ははありません。

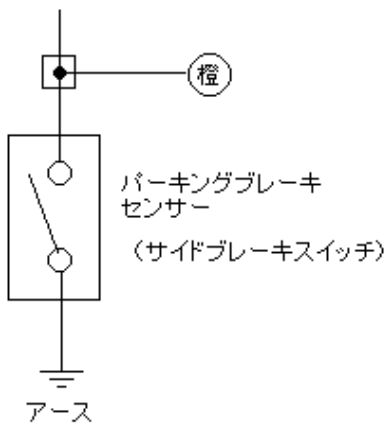
配線図



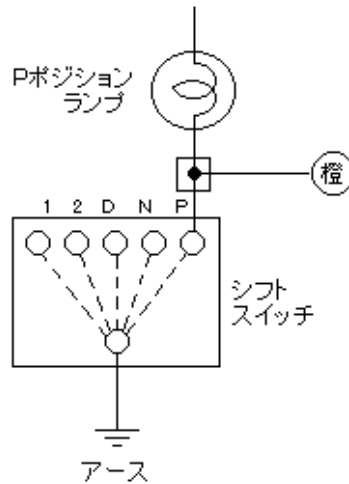
橙線は、以下の方法からお選びください。

A. パーキングブレーキ信号

B. シフトポジション「P」信号



(サイドブレーキを下ろしているとアンサーバックしない)



(ギアがP以外ではアンサーバックしない・ホンダ車等で有効)

C. イグニッション電源
(IG-ONの時はアンサーバックしない)

D. ACC電源
(ACC-ONの時はアンサーバックしない)

E. アース
(いつでもアンサーバックする)

CとDでは動作しない場合があります。

また、アンサーバックの条件をキーの有り無しに連動させる方法もあります。詳しくはホームページをご覧ください。

うまく動作しない時の対処方法

右(左)ウinkerしか点灯しない時

リレーの白線どうしを入れ替えてみます。最初と同じように右(左)だけ点灯する場合には、左(右)ウinkerへの白線の取り付け位置が間違っているか接触不良です。左(右)だけ点灯に変わった場合はリレーの故障です。

本体が動作しない時

赤線と緑線を一緒に「常時電源」に、橙線を「パーキングブレーキ信号」等に接続します。青線はつなぎません。黄色線はリレーの黄色線と接続しておきます。この状態で5秒後にハザードが点滅しっぱなしになれば正常です。ここで正常なら緑線と青線の接続先を再確認しましょう。点滅しない場合は、橙線をアースに接続してみます。これで点滅すれば橙線の接続先が問題だったことになります。それでも点滅しない場合は赤線に問題があることになります。さらに、それでも原因がわからない場合は、本体ケースの中の回路基板を取り出して、基板裏面を見てください。黄色線が半田付けされているところの銅箔パターンが焼き切れていたりすると故障です。